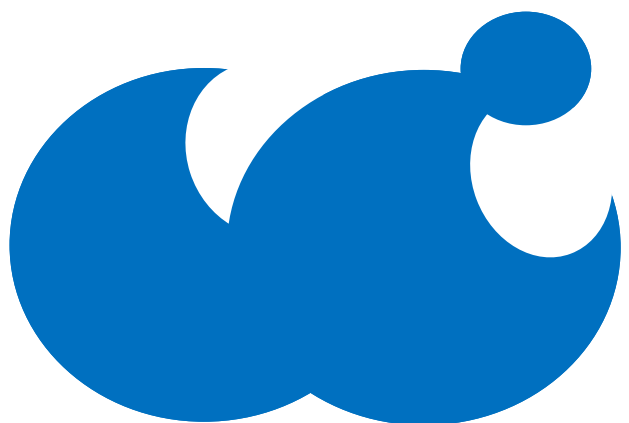


エコアクション21

環境活動レポート

第53期

(活動期間 : 2016年 9月 1日 ~ 2017年 8月31日)



MATSUURA

作成日 2017年 10月 13日

株式会社 松浦スチロール工業所

目次

I. 事業概要

II. 社是・社訓

III. 環境方針

IV. 活動組織

V. 目標・実績

VI. 年間実績の推移

VII. 活動計画・実施報告

VIII. 環境関連法規の順守状況代表者の見直し

IX. 代表者の見直し

I. 事業の概要

1. 事業所名 株式会社 松浦スチロール工業所

2. 代表者名 代表取締役社長 松浦 敏郎

3. 工場所在地

①本社工場 *平成28年7月より稼働

住所: 静岡県榛原郡吉田町川尻907-1
電話: 0548-32-0195、fax: 0548-32-6360
敷地面積: 8,515.44㎡、建築面積: 3,463.93㎡
延床面積: 8,088.04㎡



②川尻工場

住所: 静岡県榛原郡吉田町川尻892-1
電話: 0548-32-1181 fax: 0548-32-8907
敷地面積: 14,760.96㎡、建築面積: 6,858.24㎡
延床面積: 12,241.98㎡



③住吉工場

住所: 静岡県榛原郡吉田町住吉4655-1
電話: 0548-32-4111、fax: 0548-32-4112
敷地面積: 8,689.10㎡、建築面積: 5,758.34㎡
延床面積: 6,178.34㎡



4. エコアクション21責任者及び連絡先

環境管理責任者: 松浦秀哉(常務取締役)

連絡先(事務局): 住所: 静岡県榛原郡吉田町川尻907-1
事務窓口 松浦里美
TEL: 0548-32-0195 FAX: 0548-32-6360
e-mail: satomi-m@m-eps.co.jp

5. 主な事業内容 発泡スチロール製品の製造及び販売

6. 取扱品目

生鮮・保冷用搬送容器類、Fモールド用ブロック、電化製品の部材及び緩衝材、農業用資材、建築用資材、他

7. 事業規模

資本金: 2,000万円
総従業員数: 90名 (本社工場: 31名、川尻工場: 54名、住吉工場 5名)

8. エコアクション21 適用範囲

- ①当社の事業活動に関係する全ての業務
- ②当社が顧客に提供する製品及びサービス
- ③当社が管理する敷地・施設・機器

Ⅱ. 社是・社訓

「誠実」 人としてもっとも大切なことは誠実であり、誠実は信用を得る基であり、信用が発展の第一条件である。

「和」 経営は全員の総力の結集であり、人の和こそ企業の推進力である。和やかで明朗で活気ある職場を創ろう。

「啓発」 常に創意工夫を凝らし、より良い製品を、より安く、より早く、作ることに努力しよう。

「奉仕」 奉仕の精神を社業に生かし、より良い社会の建設に努力しよう。

Ⅲ. 環境方針

[基本理念]

株式会社松浦スチロール工業所は、社是「誠実・和・啓発・奉仕」の基本理念に基づき、「信用の会得」「総力の結集」「創意工夫」「社会貢献」に努め、企業活動において、社会的責任と地球環境の保全を推進し、資源循環型社会の構築に貢献します。

[活動指針]

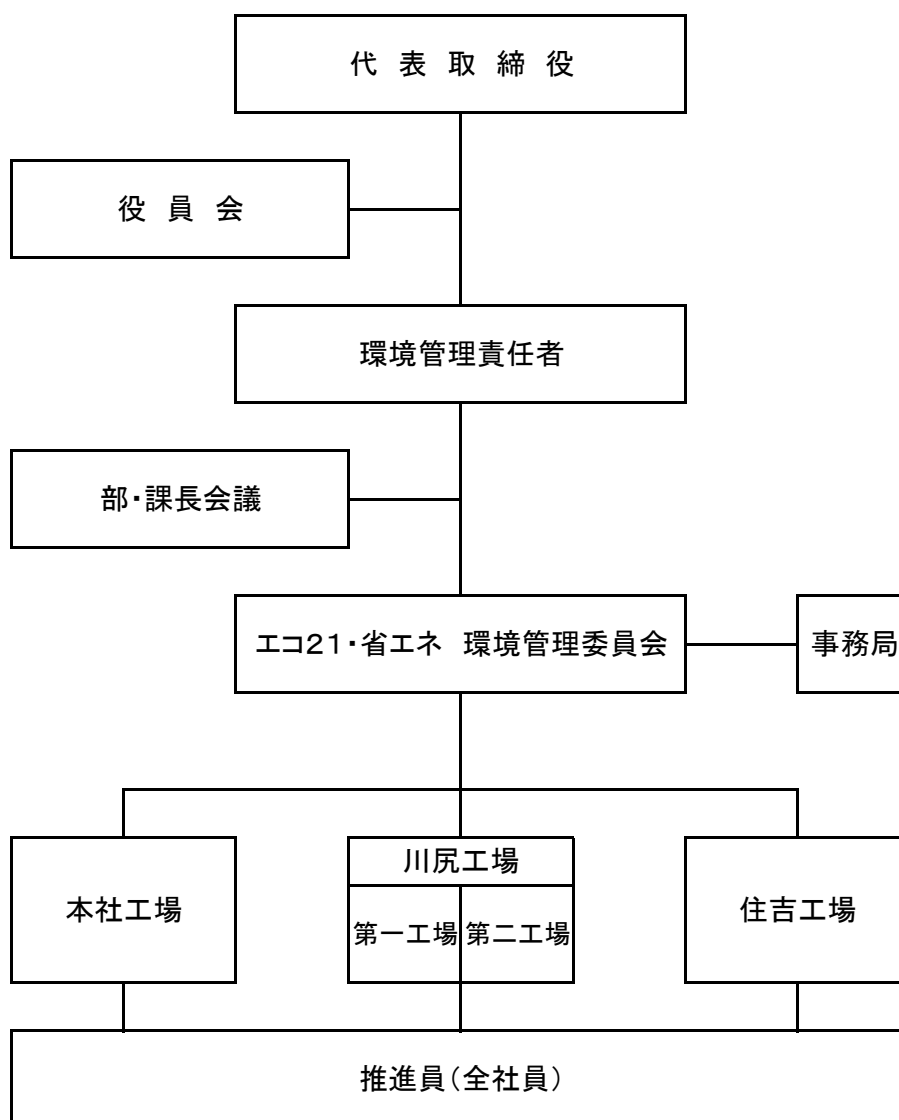
1. 関係法令・条例、その他当社が同意する要求事項を順守します。
2. 不良品の発生防止と多様化するニーズに適合した製品とサービスの提供に努めます。
3. 生産および販売活動における効率の向上と無駄の排除に努めます。
4. 省資源・省エネを推進し、CO2排出量低減に努めます。
5. 廃棄物の適正保管と3R(減量・再使用・再生)に努めます。
6. グリーン購入を推進します。
7. 本方針を基に活動の目的・目標・計画を定め、定期的に見直し、継続的改善に努めます。
8. 社内の教育・啓蒙活動を推進し、環境保全と安全衛生の意識向上に努めます。
9. 本方針及び環境レポートは一般に公表し、地域社会とのコミュニケーションの円滑化に努めます。

制定：2003年 1月20日
第2回 改定：2014年 9月 1日

株式会社 松浦スチロール工業所
代表取締役社長 松浦 敏郎

IV. 活動体制・分担

○ 活動組織



項目	担当	氏名	管轄範囲
エコ21・省エネ 環境管理委員会	環境管理責任者	松浦秀哉	全工場
	環境管理者	富永康浩	全工場
	環境管理者	谷澤伸弥	本社工場
	環境管理者	清水 真	川尻第一工場
	環境管理者	藤田孝之	川尻第二工場
	環境管理者	今村栄典	住吉工場
	環境管理者	和田真之	事務局
	事務局員	松浦里美	
バックアップ	各役員・各部長		

V. 活動結果

1. 目標値と実績値（全工場）

第53期(2016.09 ~ 2017.08)

削減対象項目	単位		基準期	目標値			
			第51期	第52期	第53期	第54期	
				前期目標値の1%削減			
二酸化炭素総排出量 (②/①)	kgCO2/kg	目標		2.448	2.424	2.400	
		実績	2.569	2.653	2.602		
評価			×	×	×		

* 電力の二酸化炭素排出量の把握には中部電力(株)から2014年度に教示された実排出係数を用いる。→ 係数 : 0.497

特定化学物質取扱量- メチルナフタレン(⑩/①)	kg/kg	目標	0.958	0.948	0.939	0.930	
		実績	0.696	0.733	0.677		
評価			○	△	○		

燃料原単位(LPG換算) (⑤/①)	kg/kg	目標	0.686	0.679	0.672	0.666	
		実績	0.601	0.625	0.620		
評価			○	△	○		

電力量原単位(⑥/①)	kwh/kg	目標	1.051	1.040	1.030	1.020	
		実績	1.060	1.102	1.064		
評価			×	×	△		

水の総排水量(⑧/①)	m ³ /kg	目標	0.0713	0.0706	0.0699	0.0692	
		実績	0.0710	0.0728	0.0924		
評価			○	×	×		

廃棄物総排出量 (全量)	kg	目標	24,425	24,181	23,939	23,700	
		実績	24,611	19,141	18,220		
評価			×	○	○		

EPS不良率(⑩/①)	%	目標	0.165	0.163	0.162	0.160	
		実績	0.175	0.166	0.148		
評価			×	△	○		

グリーン購入 (事務エコ商品全般)	%	目標	70	71	72	73	
		実績	70	65	85		
評価 (良:○ 可:△ 不可:×)			△	×	○		

*. ○前期対比・目標値とも達成、△は前期対比・目標値 同等又はどちらか達成、×は前期・目標値とも未達成。

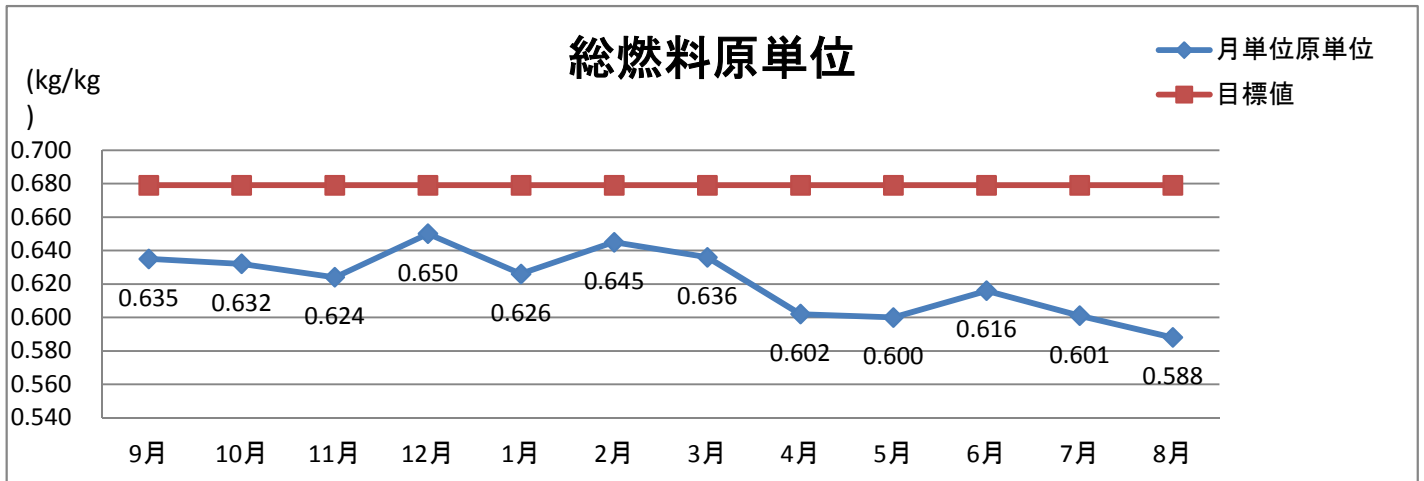
2. 使用・排出量実績（全工場）

項目	単位	実績比較	
		52期	53期
① 総原料使用量	kg	2,843,470	2,948,680
② 二酸化炭素総排出量	kg-CO2	7,543,250	7,673,645
③ 重油総使用量	ℓ	1,691,863	1,620,119
④ LPG総使用量	kg	457,582	565,535
⑤ LPG・重油LPG換算総使用量 ③+④	kg	1,776,259	1,828,293
⑥ 電力総使用量	kWh	3,133,237	3,136,959
⑦ 特定化学物質排出量	kg	20,844	19,960
⑧ 水の総排水量	m ³	206,890	272,455
⑨ 廃棄物総発生量	kg	19,141	18,220
⑩ EPS不良総発生量	kg	4,718	4,351
⑪ メチルナフタレン排出量	kg	20,844	19,960

VI. 全工場各原単位及び不良率の年間推移表

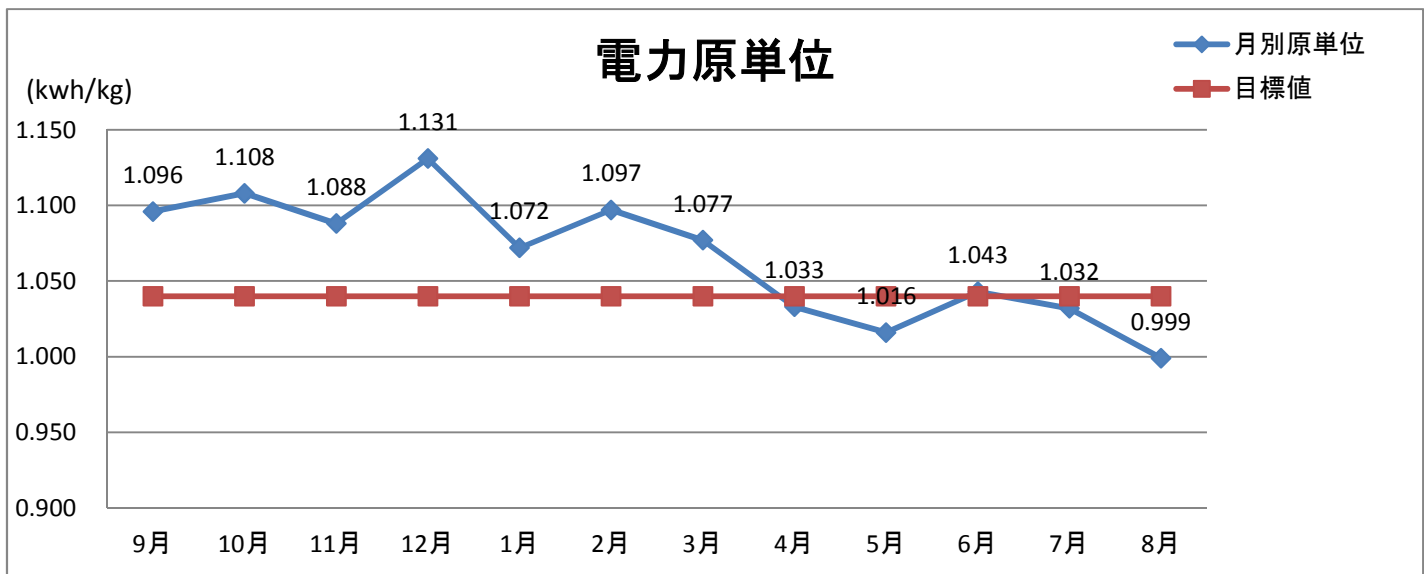
1. 総燃料原単位(kg/kg) * LPG換算

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	平均
月別原単位	0.635	0.632	0.624	0.650	0.626	0.645	0.636	0.602	0.600	0.616	0.601	0.588	0.620
目標値	0.679	0.679	0.679	0.679	0.679	0.679	0.679	0.679	0.679	0.679	0.679	0.679	0.679



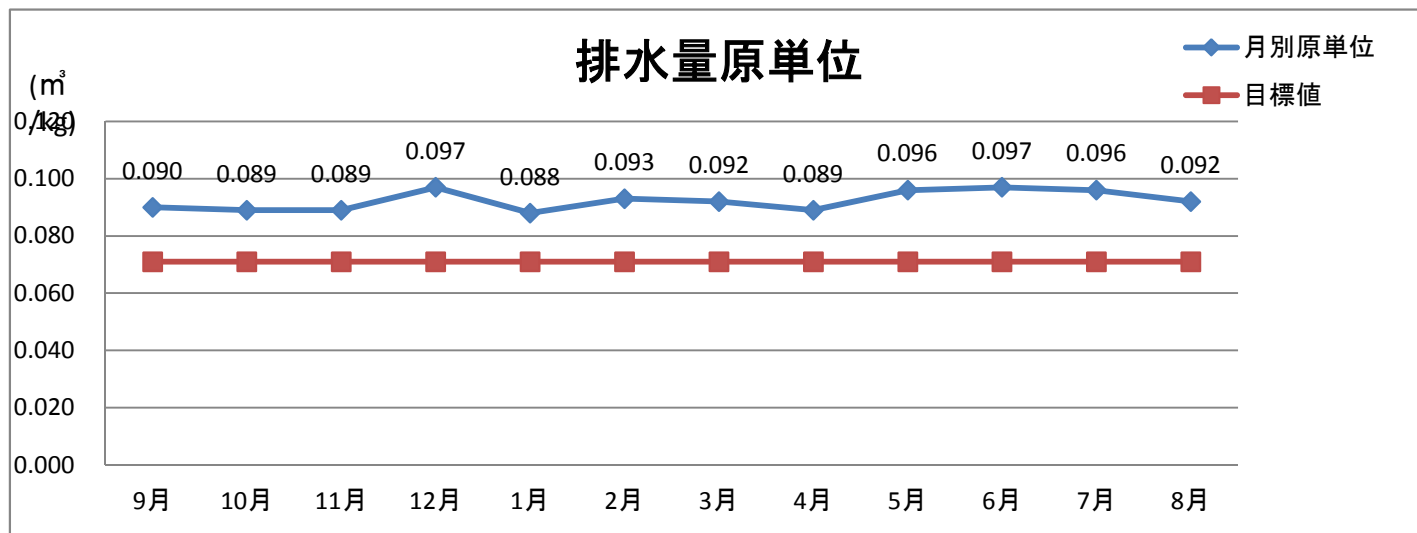
2. 総電力原単位(kwh/kg)

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	平均
月別原単位	1.096	1.108	1.088	1.131	1.072	1.097	1.077	1.033	1.016	1.043	1.032	0.999	1.064
目標値	1.040	1.040	1.040	1.040	1.040	1.040	1.040	1.040	1.040	1.040	1.040	1.040	1.040



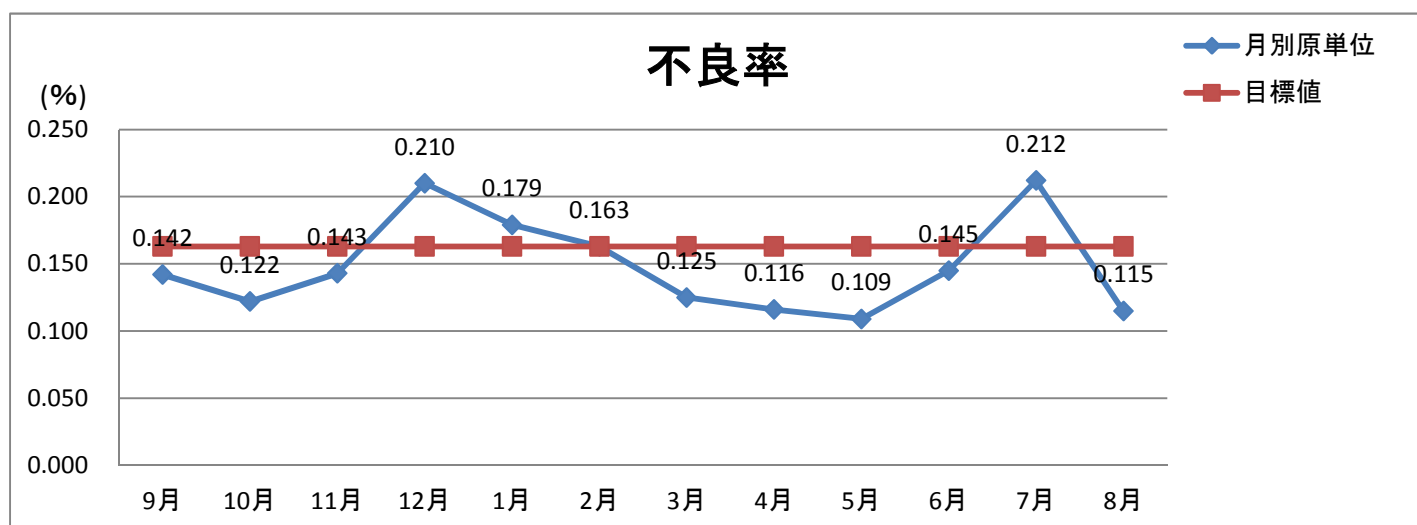
3. 総排水量原単位 (m³/kg)

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	平均
月別原単位	0.090	0.089	0.089	0.097	0.088	0.093	0.092	0.089	0.096	0.097	0.096	0.092	0.092
目標値	0.071	0.071	0.071	0.071	0.071	0.071	0.071	0.071	0.071	0.071	0.071	0.071	0.071



4. 工場全体不良率 (%)

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	平均
月別原単位	0.142	0.122	0.143	0.210	0.179	0.163	0.125	0.116	0.109	0.145	0.212	0.115	0.148
目標値	0.163	0.163	0.163	0.163	0.163	0.163	0.163	0.163	0.163	0.163	0.163	0.163	0.163



第53期 環境目標・計画・活動報告書 (本社工場)

	不良率 (型物)	不良率 ()	不良率 ()	不良率 ()	グリーン 購入率	燃 料 原単位	電 力 原単位	排水量 原単位	廃棄物発生量 (全工場対象)
目標値	0.276				71以上	0.996	1.333	0.280	23,939kg未満
実績値	0.181				88	1.040	1.466	0.288	18,220kg

施策手段	担当	計画 実施	活動スケジュール													
			9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月		
不良の削減	毎月の不良対策会議の実施	谷澤 杉本	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	金型の整備・機械保守点検の実施	成型 担当者	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
グリーン購入品の推進		松浦里	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
二酸化炭素排出削減	コンプレッサーを成形機の稼働状況に見合った運転対応	浅井			○	○										
	不要時の消灯活動と使用記録の実施	全員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	エアコンの設定温度 夏季27℃ 冬季22℃とする	事務所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	スチーム漏れ部分の迅速な都度対応	成型 担当者								○	○					
	成型設定の適正管理	成型 担当者	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
の排出削減 廃棄物	廃棄物の分別管理	全員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	コピー用紙の使用量の記録と裏面使用の推進	事務所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水の排水削減	使用量の把握と記録の実施	谷澤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	漏れ部分に迅速な都度対応	成型 担当者														
	節水	全員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	防災訓練の実施	全員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	緊急事態訓練の実施	全員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	美化活動の実施	全員														

取組結果
 ・不良率は9か月達成できました。金型整備も都度実施できました。
 ・二酸化炭素排出削減の施策はほぼ実施できました。3月にスチーム本管より漏れがあったが迅速に対応できました。
 ・水の排出削減では、植木の水やり、バレット洗浄により水道水の使用量が増加してしまいました。
 ・その他、美化活動が2回実施できなかったが、5月より毎日草取りを実施しています。
 ・新工場稼働初年度のため目標をクリアできていない項目があったが、1年間稼働状況を知ることができたので次年度に向けて目標をたてることができました。
 記入日:2017/9/5

* 環境管理者(結果・計画記入)→環境管理責任者(確認)→社長(承認)、事務局(原本保管)、環境管理者以上(写し)

第54期 環境目標・計画・活動報告書 (本社工場)

作成日: 2017年9月6日

	不良率 (型物)	不良率 ()	不良率 ()	不良率 ()	グリーン 購入率	燃 料 原単位	電 力 原単位	排水量 原単位	廃棄物発生量 (全工場対象)
目標値	0.179				88	1.029	1.451	0.285	18,037kg
実績値									

施策手段	担当	計画 実施	活動スケジュール													
			9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月		
不良の削減	「不良対策会議」(138)(1回/月)	谷澤 杉本	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	「成型機日常点検」(106)(毎日、整備)	成型 担当者	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	「成型機定期点検」107(1回/6ヶ月)、整備															
グリーン購入品の推進		松浦里	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
二酸化炭素排出削減	コンプレッサーダストフィルター清掃(1回/月)	浅井														
	「エアコンフィルター清掃」(117)(1回/6ヶ月)	仲田														
	熱交換器プレート洗浄(1回/3ヶ月) ボイラー給水温度管理	谷澤														
	成型機蒸気配管への保温材取り付け	浅井														
	デマンド管理システム運用による消費電力管理(ピークシフト)	谷澤														
	スチームトラップの管理、整備	谷澤														
の排出削減 廃棄物	廃棄物の分別の徹底・記録管理	杉本	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水の排水削減	「水道水使用量記録」(120)、漏れ確認	谷澤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	「地下水採取量記録」(121)、漏れ確認	谷澤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	工場給排水の確認	環境 管理者														
その他	クーリングタワーの運用管理	谷澤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	「防災訓練」(em-05) 「緊急事態訓練」(em-06)の実施	全員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	「安全パトロール」(131)(毎月)	安衛 委員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	「騒音測定」(137)(1回/2か月) 「エアコン簡易点検」(139)(1回/3か月)	谷澤 仲田	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	「省エネ・エコ21環境管理委員会」(em-08) 美化活動の実施(1回/4か月)	環境 管理者														

社コメント
 ①設備が新しい故に、原単位の判断が難しい。初期より一層の向上を！
 ②生産設備の管理を徹底すること
 ③健康管理、安全パトロールの徹底
 ④製品1ヶ当たりの平均重量からも算出すること
 記入日:2017/09/14

第53期 環境目標・計画・活動報告書 (住吉工場)

	不良率 (ブロック)	不良率 ()	不良率 ()	不良率 ()	グリーン 購入率	燃料 原単位	電力 原単位	排水量 原単位	廃棄物発生量 (全工場対象)
目標値	0.000				71以上	0.28	0.533	0.062	23,939kg未満
実績値	0.009				83	0.294	0.559	0.023	18,220kg

施策手段		担当	計画 実施	活動スケジュール													
				9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月		
不良の削減	毎月の不良対策会議の実施	成型担当者	計画														
	設備の整備・保守点検の実施	各担当者	計画														
	指定倍率の徹底	予発担当者	計画														
グリーン購入品の推進		戸塚芳	計画														
二酸化炭素排出削減	コンプレッサの始動を成形機の始動10分前とする	今村	計画														
	不要時の消灯活動と使用記録の実施	全員	計画														
	エアコンの設定温度 夏季27℃ 冬季22℃とする	戸塚芳	計画														
	コンプレッサの適正な運転対応と点検	今村	計画														
	コンプレッサダストフィルターの清掃 (一ヶ月毎)	今村	計画														
	スチーム漏れ部分の迅速な都度対応	成型担当者	計画														
	成型設定の適正管理	成型担当者	計画														
不要設備・配管の管理、撤去	今村	計画															
の排出削減	廃棄物の分別管理	全員	計画														
	廃スチロールのリサイクル化	久米	計画														
水の排出削減	使用量の把握と記録の実施	今村	計画														
	不要設備・配管の管理、撤去	今村	計画														
	バルブ揺締めの厳禁	成型担当者	計画														
	節水	全員	計画														
その他	防災訓練の実施	全員	計画														
	緊急事態訓練の実施	全員	計画														
	美化活動の実施	全員	計画														

取組メ
結果

- ・ブロック不良率がホースの劣化、破損等の原因で不良が発生して、3ヶ月目標達成できませんでした。
- ・二酸化炭素排出削減に対し施策はほぼ実施はできましたが、電力、燃料原単位の目標値には届きませんでした。コンプレッサの運転管理として、成形機、予発機の稼働台数に応じてコンプレッサの台数を管理しました。
- ・廃棄物の分別、廃スチロールリサイクル実施できました。
- ・水の排出削減では、水の使用量記録、施策も実施できました。
- ・防災・緊急事態訓練、美化活動も実施できました。

記入日: 2017/9/6

* 環境管理者(結果・計画記入)→環境管理責任者(確認)→社長(承認)、事務局(原本保管)、環境管理者以上(写し)

第54期 環境目標・計画・活動報告書 (住吉工場)

作成日: 2017年9月6日

	不良率 (ブロック)	不良率 ()	不良率 ()	不良率 ()	グリーン 購入率	燃料 原単位	電力 原単位	排水量 原単位	廃棄物発生量 (全工場対象)
目標値	0.000				83	0.291	0.553	0.022	18,037kg
実績値									

施策手段		担当	計画 実施	活動スケジュール														
				9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月			
不良の削減	「不良対策会議」(138)(1回/月)	成型担当者	計画															
	「成型機日常点検」(106)(毎日)、整備	成型担当者	計画															
	成型機定期点検107(1回/6ヶ月)、整備	成型担当者	計画															
グリーン購入品の推進		戸塚芳	計画															
二酸化炭素排出削減	コンプレッサダストフィルター清掃 (1回/月)	今村	計画															
	「エアコンフィルター清掃」(117) (1回/6ヶ月)	今村	計画															
	スチーム漏れ部分の迅速な都度対応	成型担当者	計画															
	スチームトラップの管理、整備	今村	計画															
の排出削減	廃棄物の分別の徹底・記録管理	今村	計画															
	廃スチロールのリサイクル化	久米	計画															
水の排出削減	「水道水使用量記録」(120)、漏れ確認	今村	計画															
	「地下水採取量記録」(121)、漏れ確認	今村	計画															
	工場総排出量の確認	環境管理者	計画															
その他	「防災訓練」(em-05)	全員	計画															
	「緊急事態訓練」(em-06)の実施	全員	計画															
	「安全パトロール」(131)(毎月)	石間	計画															
	「騒音測定」(137)(1回/2ヵ月)	今村	計画															
	「エアコン簡易点検」(139)(1回/3ヵ月)	今村	計画															
「省エネ・エコ21環境管理委員会」(em-08)	環境管理者	計画																
美化活動の実施(1回/4ヵ月)	環境管理者	計画																

社
長
コ
メ
ン
ト

- ①原単位の高低は他社と比較して判断すること
- ②製品1本当たりの重量によっても変化が出る

記入日: 2017/09/14

Ⅷ. 環境関連法規等の順守状況の確認及び違反・訴訟等

①

関係法令	適用事項	該当事項	該当部署	順守状況
				確認日 担当者
環境基本法	①事業活動に伴う公害防止と自然環境保全措置 ②廃棄物に対する必要措置 ③環境への負荷低減とリサイクル ④国、地方の施策協力	—	全工場	○ 松浦秀哉 9月6日
地球温暖化対策推進法	①温室効果ガスの排出抑制等の措置に努める ②県、市町村の施策協力 ③温室効果ガス排出削減計画書、報告書の提出	—	川尻工場	○ 松浦里美 6月23日
エネルギー使用の合理化等に関する法律	①エネルギー使用状況届出 ②統括管理者、企画推進者、管理員の選任 ③企業単位の定期報告、中長期計画書の提出 ④エネルギーの使用量、合理化の推進	①特定事業所(全工場) ②第二種指定工場(川尻工場)	全工場	○ 松浦里美 7月21日
大気汚染防止法	①ばい煙発生施設の設置届出 ②ばい煙排出基準 ③測定(2回/年) ④統括管理者、公害防止管理者の選任(川尻工	①ボイラ	川尻工場	○ 富永康浩 9月6日
公害防止組織法	①特定工場における公害防止統括者等の制度を設け、公害防止組織の整備を図る。	①エネルギー使用の合理化等に関する法律 ②大気汚染防止法	川尻工場	○ 富永康浩 9月6日
工業用水法	①地下水揚水設備の届出 ②地下水採取量の報告	①地下水揚水設備	全工場	○ 松浦里美 2月15日
水質汚濁防止法	①排出基準 ②排水検査(1回/年)	①工場排水(50㎡以上)	全工場	○ 松浦秀哉 9月6日
浄化槽法	①設置届出 ②保守点検 ③水質基準 ④水質検査(1回/年)	①浄化槽	全工場	○ 松浦秀哉 7月25日
PRTR法(化学物質使用・排出量)	①化学物質排出量の届出報告(1回/年)	①重油に含有される化学物質(メタルナフタレン)	川尻工場	○ 松浦里美 4月15日
フロン排出抑制法	①特定製品を廃棄する場合のフロンの適正処理 ②フロン回収処理報告書の発行、保管 ③エアコン設備管理者の選任 ④エアコン室外機の定期点検、記録	①コンプレッサー ②エアードライヤー ③業務用エアコン	全工場	○ 松浦秀哉 9月6日
騒音規制法	①特定施設の届出 ②自主測定	①コンプレッサー ②送風機 ③業務用エアコン ④ポンプ類	全工場	○ 松浦秀哉 9月6日
振動規制法	①特定施設の届出	①コンプレッサー ②ポンプ類 ③成型機	全工場	○ 松浦秀哉 9月6日
廃棄物処理法(自社排出)	①廃棄物の適正処理 ②廃棄物の3Rの推進 ③産業廃棄物の適正な保管・処理 ④産業廃棄物の処分状況報告 ⑤産業廃棄物の規制・基準の遵守 ⑥概要物質の成分検査 ⑦処分・収集委託契約、 manifests の発行、保管	①一般廃棄物 ②廃油 ③廃プラ ④金属屑 ⑤木パレ ⑥イオン樹脂 ⑦廃スチロール	全工場	○ 松浦里美 6月20日
容器リサイクル法	①直接販売製品の再商品化	再商品化委託契約申込み	本社 (事務所)	○ 松浦里美 1月17日

○印－遵守 ・ ×印－不適

②

関係法令	適用事項	該当事項	該当部署	順守状況
				確認日 担当者
各リサイクル法 (家電・容器包装・自動車)	①適正な処理及び再商品化義務 ②リサイクル料金の負担	①特定家電 ②パソコン ③自動車 ④容器	全工場	○ 松浦秀哉 9月6日
消防法(保安)	①該当施設の設置申請、届出 ②貯蔵標示 ③定期検査(漏洩) ④保安管理者の選任	①重油タンク(屋外) ②軽油タンク(地下) ③原料庫、製品庫	全工場	○ 松浦秀哉 9月6日
消防法(設備)	①消防設備の設置届出 ②定防火設備の期点検 ③防火管理者の選任	①火災報知器 ②消火器・消火栓 ③標示	全工場	○ 松浦秀哉 9月6日
工場立地法	敷地面積における施設及び緑地面積の割合 * 敷地面積:9,000㎡又は建築面積:3,000㎡以上の工場	①生産施設 ②環境施設 ③緑地	全工場	○ 松浦秀哉 9月6日
吉田町オアシス条例	①緑地面積の確保	①本社工場-10% ②川尻工場-20%	全工場	○ 松浦秀哉 9月6日
電気事業法	①電気主任技術者の選任 ②電気年次点検	/	全工場	○ 松浦秀哉 9月6日
グリーン購入法	①環境に配慮した事務機器、事務用品等の購入に努める。	—	全工場	○ 松浦里美 8月31日
取引先・業界よりの要求事項	①RoHs指令 ②Reach規則 ③発泡スチロール協会	①特定含有規制物質の使用禁止 ②特定含有物質の公表 ③発泡スチロールの再	本社工場 (営業)	○ 戸塚靖也 9月6日

○印-遵守 ・ ×印-不適

違反・訴訟等	
<p>・法規等に抵触する違反および近隣よりの苦情もありませんでした。 ・改正のあった法規等において当社で抵触する事項はありませんでした。</p>	
作成日	2017. 09. 13
作成者	環境管理責任者 松浦秀哉

IX. 代表者の見直し

第53期（2016年 9月～2017年 8月）

作成者	環境管理責任者
	松浦 秀哉

1. 見直し

作成 平成2017年 9月 13日

見直し項目	見直しの要・否	評価・他
1 環境方針	要 (否)	変更なし。
2 環境目標	(要) 否	工場全体の生産体制が出来き、現状の電力排出係数も変更されているので、54期以降は基準年を変更する。
3 環境活動計画	(要) 否	環境目標を踏まえ、見直しながら活動計画に取り組んでほしい。
4 環境マネジメントシステム	要 (否)	システムの再確認と理解に努めてほしい。

2. 活動結果の評価

項目	評価・他
1 環境目標達成状況	・燃料原単位は大方達成出来ている割には、二酸化炭素の原単位は未達成のままなので、PDCAを廻し、小まめな対応に努めること。
2 環境活動計画達成状況	・施策は実施されていると思いますが、結果に繋がらない部分を再検討し、探求に努めること。
3 教育訓練の実施状況	・計画及び都度の実施は出来ているので、実践への反映を期待する。
4 環境関連法規の順守状況	・問題なく順守されていると思います。
5 緊急事態想定訓練実施状況	防災、緊急事態想定訓練は計画通り実施でき、手順に不具合はなかったように思いますが、もう少し迅速な対応が必要かと感じます。
6 外部コミュニケーション対応状況	近隣よりの苦情は無かったが、今後は構内・外の5S活動をより推進して行く。

環境管理責任者コメント

・前例に捉われず、状況をしっかり見極め、出来ることから優先順位を決め、対策を立て、確実に実施して行きましょう。

3. 代表者の全体評価

(今期の取組評価)

一部の未達成はあるが、大方達成されていると思う。
よく頑張った。

(来期の取組への抱負)

老朽化した設備は更新し、更なるコスト低減に努めること。

2017年 9月 19日 代表取締役 松浦 敏郎

4. 第54期への取組

社長の工場別活動報告コメント及び果全体評価を踏まえ、第54期に取り組む。

2017年 9月 19日 環境管理責任者 松浦秀哉

エコアクション21 環境保全活動の紹介

1. 熱交換器本体の保温対策



2. ボイラ省エネ補助対策装置(バイソンサイクロン)の設置



3. 緊急事態想定訓練 (発泡粒の社外流出事故の想定訓練)

